



田中 ゆき

青葉台小・桐蔭・慶応大

命とところを守る
市政を!

プロフィール

- 青葉区育ち、青葉台小学校 ● 桐蔭学園高等学校／桐蔭会(会計)
- 慶應義塾大学商学部／体育会ボート部 ● 人間総合科学大学大学院 ● 日本航空CA(客室乗務員)
- 看護師(病院・企業・学校・保育・地域包括) ● 桐蔭横浜大学保健室 ● 衆議院議員江田けんじ秘書
- 立憲民主党 ● 所属委員会(常任)こども青少年・教育委員会/新たな都市活力推進特別委員会

Vol.12 豪雨災害に備えを!

1 全国各地で豪雨災害が発生

2 河川が近くにいるから安心??

注意

マンホール 内水氾濫

土砂災害

3 洪水浸水想定区域 土砂災害警戒区域

横浜市ホームページまたは
青葉区民防災必携で確認!

スマホ

青葉区
ハザード
マップ

区役所配布のパンフレット

パソコン

4

マスク 消毒液

体温計

非常持ち出し袋

情報入手のための ラジオ

危険区域の確認と
避難の準備を!



豪雨災害に備えを!

今年も各地で豪雨災害が発生しています。近所に河川がなければ大丈夫だと思っ
ていませんか? 豪雨災害は河川の洪水氾濫だけでなく、マンホール等から水があふれる
内水氾濫、がけ崩れなどがあります。青葉区の洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域は
横浜市ホームページ、区役所で配布されている青葉区民防災必携で確認できます。
ご自宅付近の危険箇所を確認すると共に、避難情報を入手するラジオ等の備えをしま
しょう。また、避難時に備え、非常持ち出し品にはコロナ感染予防対策のマスク、
消毒液、体温計なども合わせて準備しておきましょう。



防災士として、市議として、地域防災に関わる中で

私が防災士として活動してきた中で、平時から各種災害を想定した避難情報の収集や避難準備、家庭での備蓄をしておくことが大切だと実感しています。近年は未曾有の豪雨災害が全国各地で多発し、青葉区にも洪水・浸水、土砂崩れなど、豪雨災害リスクがあります。区民、市民の皆さんの大切な生命と財産が豪雨災害から守られるよう、市政に取り組んで参ります！

田中ゆきの「豪雨災害」対策推進施策

- 災害発生時、リアルタイム情報発信媒体の拡充
- 住民へ豪雨災害リスク、危険区域の周知徹底
- 豪雨災害を想定した避難情報発信と防災訓練実施
- 災害時要援護者等の把握と避難手段の確認、避難訓練実施
- 想定外の豪雨に対応可能な治水対策の整備推進
- ソフト・ハード両面で豪雨災害対策による地域防災力の向上

高まっている豪雨災害リスク

今年も全国各地で局地的な大雨等が頻発し、住民生活・社会経済活動に影響をきたすほどの大規模な豪雨災害が発生しています。近年は全国的にも雨の降り方が「局地的」「集中化」「激甚化」する傾向が見られ、過去10年間に約98%以上の市町村で水害・土砂災害が発生しているという報告もされています。地球温暖化等に伴う気候変動の影響により、今後さらに、大雨や短時間強雨の発生頻度や大雨の降水量などが増大することが予測されており、大規模な豪雨災害が発生するリスクが高まっ

内水氾濫にも注意が必要！

浸水被害は、河川の洪水氾濫だけでなく、マンホール等から水があふれる内水氾濫があり、特に都市部では浸水しやすい地域の宅地化が進んでいることから、洪水・内水氾濫ともに注意が必要です。下水道は、大雨や台風時に雨水が貯留しないよう河川等へ流す役割を担っていますが、下水道の計画規模を大きく上回る集中豪雨が発生すると内水氾濫が発生します。特に都市部では、道路や住宅の浸水だけでなく、道路のアンダーパスや地下空間の水没といった内水被害も発生しています。

青葉区の豪雨災害リスク

青葉区には3つの鶴見川水系(鶴見川、早渕川、恩田川)と奈良川、黒須田川が区内を流れています。青葉区は宅地開発等により市街化が進み、河川への雨水流出量増大による洪水氾濫、市街地での道路や住宅の浸水などの内水氾濫にも注意が必要です。また区内には135区域が土砂災害警戒区域に指定されています。急傾斜地におけるがけ崩れや土石流による被害にも注意が必要です。



● もしもの場合に備えて

洪水・土砂災害・液状化など、被災想定区域や避難場所・避難経路などの防災関係施設の位置などがわかるハザードマップがダウンロードできます。

横浜 ハザードマップ



豪雨災害「警戒レベル」とは

警戒レベルは、災害発生の危険度が高くなるほど数字が大きくなります。「警戒レベル1」は、災害への心構えを高める、「警戒レベル2」は、ハザードマップなどで避難行動を確認です。「警戒レベル3」が発令されたら、高齢の方や障がいのある方など避難に時間のかかる方やその支援者の方は危険な場所から避難し、それ以外の人は避難の準備をすること。そして、「警戒レベル4」が発令されたら、対象となる地域住民の方々は危険な場所から全員避難することです。

避難情報はどのように伝達されるのか？

青葉区では避難情報が発令された場合には、広報車や「FM サルースラジオ」、「FM サルースアプリ」、「防災情報Eメール」などにより、避難情報が伝達されます。豪雨時の避難場所は災害規模等に応じてその都度選定されます。避難情報や注意報、警報を様々な媒体から入手できるようにすることが大切です。「FM サルースアプリ」や「防災情報Eメール」など今すぐ登録できるものもあります。登録状況を確認しましょう。

豪雨災害に備えを！

青葉区の洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域は横浜市ホームページで確認できます。また区役所で配布している青葉区民防災必携は青葉区の防災情報がまとまっており、いざという時の備えに役立ちます。

これから本格的な台風シーズンを迎えます。ご自宅付近の危険箇所を確認すると共に、豪雨時に避難情報を入手できるようラジオ等の備えをしましょう。また、避難時に備え、非常持ち出し品にはコロナ感染予防対策のマスク、消毒液、体温計なども合わせて準備しておきましょう。

